

平成25年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場会社名 東北化学薬品株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7446 URL <http://www.t-kagaku.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 幸弘
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理グループ長 (氏名) 築館 宏治 (TEL) 0172-33-8131
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第3四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第3四半期	20,144	39.0	109	△7.8	120	△34.6	75	△3.4
24年9月期第3四半期	14,490	4.3	118	36.0	184	74.5	78	448.8

(注) 包括利益 25年9月期第3四半期 223百万円(167.0%) 24年9月期第3四半期 83百万円(148.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第3四半期	15.96	—
24年9月期第3四半期	16.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年9月期第3四半期	12,973	4,356	33.6	927.06
24年9月期	10,083	4,218	41.8	881.37

(参考) 自己資本 25年9月期第3四半期 4,356百万円 24年9月期 4,218百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	—	0.00	—	12.00	12.00
25年9月期	—	0.00	—	—	—
25年9月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年9月期の連結業績予想(平成24年10月1日～平成25年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,400	44.8	310	64.5	320	23.9	140	43.0	29.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 1社(社名) 株式会社日栄東海 、除外 1社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期3Q	4,800,000株	24年9月期	4,800,000株
② 期末自己株式数	25年9月期3Q	100,877株	24年9月期	13,677株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期3Q	4,729,283株	24年9月期3Q	4,786,496株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) セグメント情報等	10
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済対策及び金融政策や日本銀行による「量的・質的金融緩和」導入の効果により円安、株高が進行し、企業収益や個人消費に回復傾向がみられたものの、欧州の債務危機による金融不安や中国を中心とするアジア経済の停滞などから、景気の先行きには不透明感が残りました。

このような経済状況の中で、当社グループはビジネス環境変化に対するスピーディーな体質改革を図り、積極的な営業活動をしてまいりました。

また、平成24年10月1日付で当社の持分法適用の関連会社である株式会社日栄東海の株式を追加取得し、連結子会社といたしました。

この結果、連結子会社となった株式会社日栄東海の業績貢献などにより、前年同四半期と比べ売上高は、201億44百万円と56億53百万円(39.0%)の増収、営業利益は、1億9百万円と9百万円(△7.8%)の減益、経常利益は、1億20百万円と63百万円(△34.6%)の減益、四半期純利益は、75百万円と2百万円(△3.4%)の減益となりました。

各セグメント別の業績は、以下のとおりであります。

(化学工業薬品)

エネルギーコストの高騰をうけ厳しい状況が続いておりますが、化学工業薬品は前年同四半期を上回りました。しかし、同関連機器については前年同四半期を下回りました。この結果、売上高は、全体で80億36百万円と2億67百万円(△3.2%)の減収、セグメント利益(売上総利益)は7億90百万円と65百万円(△7.6%)の減益となりました。

(臨床検査試薬)

医療費抑制や各種医療機関での共同入札などの影響を受け、取り巻く環境は非常に厳しい状況で推移しましたが、連結子会社となりました株式会社日栄東海の業績貢献もあり、臨床検査試薬は前年同四半期を大きく上回りました。また、同関連機器も前年同四半期を上回ることができました。この結果、売上高は、全体で95億20百万円と49億33百万円(107.5%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は9億24百万円と4億14百万円(81.1%)の増益となりました。

(食品)

原料不足による生産調整やデフレによる消費低迷など厳しい環境でありましたが、連結子会社となりました株式会社日栄東海の業績貢献もあり、食品添加物は前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は、21億40百万円と8億86百万円(70.7%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は1億73百万円と20百万円(13.4%)の増益となりました。

(その他)

価格競争の激化や過剰在庫等により厳しい環境でありましたが、その他は農業施設の販売などで前年同四半期を大きく上回りました。この結果、売上高は4億46百万円と1億1百万円(29.5%)の増収、セグメント利益(売上総利益)は52百万円と12百万円(31.8%)の増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産・負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、平成24年10月1日に株式会社日栄東海を子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ、28億89百万円増加し、129億73百万円となりました。また、負債につきましては、株式会社日栄東海を子会社化したことにより、前連結会計年度末に比べ、27億51百万円増加し、86億16百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ、1億37百万円増加し、43億56百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

(資産)

資産の増加の主な原因は、株式会社日栄東海を子会社化したことにより現金及び預金、受取手形及び売掛金、商品、土地、差入保証金等が増加したことによるものであります。

(負債)

負債の増加の主な原因は、株式会社日栄東海を子会社化したことにより支払手形及び買掛金、短期借入金、長期借入金等が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の増加の主な原因は、その他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後のわが国経済につきましては、景気の回復は不透明であり、当社を取り巻く事業環境は依然として厳しいものと予想されます。第3四半期までの業績動向を踏まえ、平成24年11月14日に公表した平成25年9月期の通期予想につきましては、計画とおり推移しております。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(1) 連結の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社は持分法適用関連会社であった株式会社日栄東海の株式を追加で取得したため、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 持分法適用の範囲の重要な変更

第1四半期連結会計期間より、当社は持分法適用関連会社であった株式会社日栄東海の株式を追加で取得したため、同社を連結の範囲に含めたことに伴い、持分法の適用の範囲から除外しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

重要なものはありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年10月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,265,239	1,684,615
受取手形及び売掛金	4,608,525	5,658,581
商品	515,882	845,116
繰延税金資産	17,617	2,359
その他	147,101	249,653
貸倒引当金	△4,416	△3,964
流動資産合計	6,549,950	8,436,361
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	453,620	479,181
土地	1,310,502	1,684,740
リース資産(純額)	111,493	104,402
その他(純額)	253,114	266,395
有形固定資産合計	2,128,730	2,534,720
無形固定資産		
のれん	—	137,904
その他	10,667	15,364
無形固定資産合計	10,667	153,268
投資その他の資産		
投資有価証券	631,407	854,534
リース投資資産	282,853	232,170
その他	500,406	788,097
貸倒引当金	△20,794	△26,114
投資その他の資産合計	1,393,873	1,848,687
固定資産合計	3,533,271	4,536,676
資産合計	10,083,221	12,973,038
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,982,634	6,899,668
短期借入金	—	465,955
リース債務	121,845	126,528
未払法人税等	72,462	4,420
賞与引当金	27,910	15,000
その他	151,585	169,933
流動負債合計	5,356,437	7,681,505
固定負債		
長期借入金	—	357,965
リース債務	363,782	304,195

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
繰延税金負債	32,881	14,562
退職給付引当金	20,711	77,098
役員退職慰労引当金	63,862	149,588
その他	27,006	31,761
固定負債合計	508,245	935,172
負債合計	5,864,683	8,616,677
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,400	820,400
資本剰余金	881,100	881,100
利益剰余金	2,476,090	2,505,105
自己株式	△6,637	△46,196
株主資本合計	4,170,953	4,160,408
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	47,584	195,952
その他の包括利益累計額合計	47,584	195,952
純資産合計	4,218,538	4,356,360
負債純資産合計	10,083,221	12,973,038

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
売上高	14,490,614	20,144,586
売上原価	12,932,154	18,204,083
売上総利益	1,558,460	1,940,503
販売費及び一般管理費	1,439,792	1,831,124
営業利益	118,668	109,379
営業外収益		
受取利息	3,303	2,776
受取配当金	8,064	8,793
貸倒引当金戻入額	46,389	—
持分法による投資利益	—	753
その他	11,627	18,198
営業外収益合計	69,384	30,522
営業外費用		
支払利息	102	17,701
持分法による投資損失	2,534	—
その他	988	1,637
営業外費用合計	3,624	19,338
経常利益	184,428	120,562
特別利益		
固定資産売却益	—	49
段階取得に係る差益	—	22,500
投資事業組合運用益	—	1,669
特別利益合計	—	24,219
特別損失		
固定資産除却損	119	250
投資有価証券評価損	2,365	766
投資事業組合運用損	2,919	—
その他	—	1,983
特別損失合計	5,405	2,999
税金等調整前四半期純利益	179,022	141,782
法人税、住民税及び事業税	89,990	56,587
法人税等調整額	10,900	9,713
法人税等合計	100,890	66,300
少数株主損益調整前四半期純利益	78,131	75,481
四半期純利益	78,131	75,481

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	78,131	75,481
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,697	148,367
その他の包括利益合計	5,697	148,367
四半期包括利益	83,829	223,849
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	83,829	223,849
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成24年10月1日 至 平成25年6月30日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成23年10月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,303,857	4,587,554	1,254,254	344,948	14,490,614	—	14,490,614
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,303,857	4,587,554	1,254,254	344,948	14,490,614	—	14,490,614
セグメント利益	855,351	510,414	152,906	39,788	1,558,460	—	1,558,460

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、前連結会計年度において「その他(食品・農薬資材)」に含まれていた「食品」について量的な重要性が増したため、「食品」及び「その他」をそれぞれ区分掲記しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

平成24年10月1日付で株式会社日栄東海が連結子会社となりました。

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額	四半期連結損益計算書計上額(注)
	化学工業薬品	臨床検査試薬	食品	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	8,036,496	9,520,732	2,140,784	446,573	20,144,586	—	20,144,586
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	8,036,496	9,520,732	2,140,784	446,573	20,144,586	—	20,144,586
セグメント利益	790,149	924,506	173,421	52,425	1,940,503	—	1,940,503

(注)セグメント利益は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

第1四半期連結会計期間で株式会社日栄東海の株式を追加取得したため、のれんが1億62百万円発生しておりますが、特定の報告セグメントには関連づけてはおりません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

該当事項はありません。